

実践記録（小6・社会科）

1 ねらい

情報をそのまま自分の考えとしてしまうのではなく、情報を基に自分の考えをもつことができるようにする。

2 手立て

- 特定の立場に立って、自分の考えをもつ活動

単元で学習した内容を整理するために、単元全体のまとめを、クラゲチャートを使って観点ごとに整理する。その後、児童に特定の立場を選択させる。そして、パフォーマンス課題を与えて、それぞれの観点を特定の立場からどのように捉えさせることができるのか考えさせる。パフォーマンス課題では、根拠となる情報を記述する項目と、自分の考えを記述する項目を分ける。これにより、情報をそのまま自分の考えとしてしまう課題を改善し、整理した情報を基に自分の考えをもつことができるようにする。

3 実践の様子

第1時で、江戸時代と明治時代の街の様子を比較し、学習問題「どうして江戸時代末期から明治時代にかけて社会が大きく変化したのか調べよう」を設定した。第2時から第5時にかけて学習問題を解決するための調べ学習を行い、毎時のまとめを振り返りチャートに記述させた。

第6時では、毎時のまとめを振り返り、学習問題に対して「ペリー来航によって開国したことがきっかけで、天皇中心の国づくりや富国強兵を進めた。外国の文化を取り入れることで、日本は近代化した。」とまとめた。そして、学習問題をさらに掘り下げていくために、「近代化したとは、どういうことだろうか。」と発問し、まとめた内容を「富国強兵」「生活」「政治」の3つの観点に分類した。

第7時では、整理した情報を基に自分の考えをもつことができるようにするために、パフォーマンス課題「あなたは、明治時代初期の国民です。江戸時代末期のころは〇〇の身分でした。江戸時代と比べて明治時代のあなたの生活はどのように変わりましたか。」を与えた。また、学習したことを踏まえて自分の考えを導き出すためにルーブリックを提示した。【資料1】

評価	変化したところ	変化に対する思い
A	近代化によって明治時代に生活が変化したことを理解し、3つの観点をすべて使って、江戸時代の生活と比較して、記述できている。	生活が変化したことに対する思いを、理由や根拠を明確にして記述することができている。
B	近代化によって明治時代に生活が変化したことをおおよそ理解し、3つの観点のいずれかを使って、記述できている。	生活が変化したことに対する思いを、記述することができている。
C	近代化によって明治時代に生活が変化したことへの理解が不十分である。3つの観点から1つも使わずに記述をしている。	生活が変化したことに対する思いを、記述することができていない。あるいは、見当違いの記述をしている。

【資料1 児童に提示したルーブリック】

農民を選んだ児童は、「自分たちは、身分が低いほうだったから、身分が同じになって生活に差別がなくなった（整理した情報）。学校にも行けるようになり、頑張り次第で成功できることを伝えたい（自分の考え）」と情報を基に自分の考えを記述することができた。

4 成果と課題

- 「自分が〇〇の立場だったら」というパフォーマンス課題を与えることで、時代背景や出来事などを、違う立場から捉え直し、情報を多面的・多角的に考えさせることができた。
- パフォーマンス課題への記述内容に誤りがあることに気付かない児童がいた。授業後にコメントを入れ、誤りを訂正させたが、他の児童と交流の中で気付くことができると良かった。